

# 東京オリンピック・カヌー競技日本代表 水本圭治さん 大会へ意気込み



インタビューを受ける水本さん  
※写真撮影時のみマスクを外しています。

東京オリンピックのカヌー競技日本代表に内定している、本町出身の水本圭治さんに令和2年12月29日、インタビューを行いました。母校・不来方高での講演のため帰省した同10月以降の状況、オリンピッククイヤーである今年に向けた抱負などを聞きました。

●10月の帰郷を終えた後、これまでの活動内容は。

水本 11月から12月まで、沖縄県で合宿を行い、その後、(拠点としている)長崎県へ戻った。コロナ禍で一時的不在となっていた海外の

※カヤックの4人制種目  
コーチも戻り、K-4メンバー全員が高いモチベーションで練習に励むことができています。

●8月の大会本番まで約8か月。現在の心境は。

水本 本来は今年、開催されるはずだったが、1年延びたことは自分にとってプラスとなった。自分を見てくれる、応援してくれる人が増えたと感じている。五輪に向け、責任感が増すというか、以前は「メダルを目指す」と考えていたのが「取ればいいな」となり、「取りたい」、「絶対に取る」へと変わっている。

●この1年で成長を感じた部分は。

水本 合宿での成果が、体力や技術面などに表れている。具体的なことを言うと、以前はベンチプレスでMAX150kgだったのが、160kgに上がったこと。加えて、水上での「漕ぎ」について、どうすれば上手く動かせるかなど、その理由が体で分かるようになって



①日本代表チームの練習の様子。先頭(右側)が水本さん。  
②ウエイトトレーニングに励む水本さん  
(写真はいずれも水本さん提供)



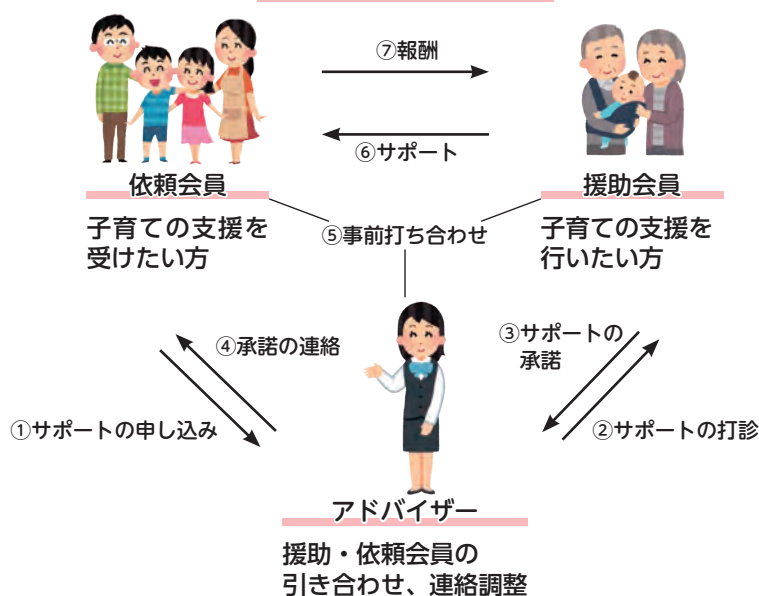
きた。15年、カヌーを続けていても新しい発見がある。  
●今後、どのように準備を進めるか。  
水本 年明けから、再び合宿で沖縄を訪れるが、コロナ禍でいろいろな日程が立てられない状況。だが、そういったことだけに捉われず、自分が、チームが、今やるべきことをしっかりやらなければならない。そして、

無事に五輪が開催されたとき、成績を残せるように取り組んでいく。  
●皆さんにメッセージを。  
水本 高校でカヌーを始めてから、いろんな方々から応援してもらっている。五輪に向けて、コロナを、不安を吹き飛ばせるような、そういった勢いを持って練習に励んでいきたい。



# 地域で子育てを支える “ファミサポ”をご利用ください

## 事業の仕組み



1月から「ファミリー・サポート・センター事業」(ファミサポ)が始まりました。これは、地域の有償ボランティアが子育て支援を行うものです。(左図参照)

活動を通して、援助会員には地域の子どもを見守るやりがいや触れ合う楽しみができ、依頼会員には身近に頼れる存在がいる安心感が生まれます。

異なる世代がつながりを持つことで、より良い子育て環境の向上につなげるため、ご協力をお願いします。

### ファミサポの会員数 (1/18 現在)

依頼会員	19人
援助会員	11人
両方会員(※)	2人

※依頼・援助のいずれも登録している方



アドバイザーによる  
会員からの聞き取り



援助会員向けの講習会を  
実施しています

### 利用時間と1時間あたりの報酬

	時間	金額* (子ども1人につき)
平日	午前7時 午後7時	500円
	上記以外	600円
土日祝	午前7時 午後7時	600円
	上記以外	700円

※依頼会員から援助会員へ払う金額で、この他にも必要に応じて費用がかかる場合があります。



こちらのQRコードからも  
問い合わせを受け付けます。

### 会員になるには？

依頼会員、援助会員はどちらも会員登録が必要となります。また、援助会員はファミサポ事業の一環として、事前に養成講座を受講します。※受講無料

子育てについて、基本的な知識や心構えなどを学習し、安心して活動を始めることができます。AEDを使った救急法の他、おもちゃの手作り体験なども取り入れ、楽しみながら学べます。

会員は随時募集中です。ファミサポ事業へのご参加、お待ちしております！

### どんなとき使える？

依頼会員は生活のさまざまな場面で、援助会員の力を借りられます。“困った時、もっと大変な人が利用するもの”と思われがちですが、リフレッシュ目的の利用もできます。お気軽に、お問い合わせください。

▼保育園、児童館の送迎とその前後の預かり

▼習い事の送迎

▼美容院、買い物などのリフレッシュ時 など

※病児・病後児、宿泊を伴う場合は除く

■問い合わせ 町教育委員会子ども課 (さわやかハウス内 ☎ 611-2777)